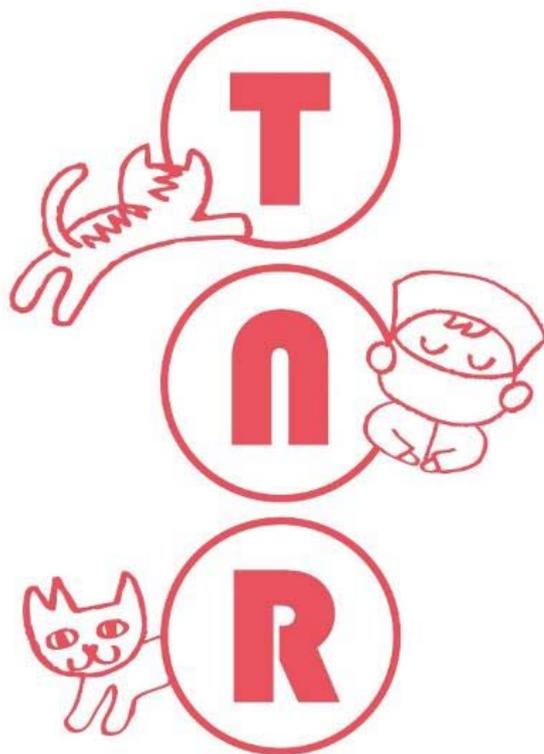


志々島ごとさくらねこTNRプロジェクト 実施報告書



doubutukikin since 1988

主 催：公益財団法人どうぶつ基金

共 催：志々島自治会

瀬戸内さくらねこ推進会

NPO法人BONにゃん

日 程：平成28年12月23日（金・祝）～24日（土）（手術日）

香川県の現状

平成27年度環境省調べのデータによると、香川県は年間1,205頭の猫を殺処分しており、殺処分数は、ここ数年、ワースト20位以内に位置している。

自治体名	猫								
	引き取り数						処分数 (下段は幼齢個体内数)		
	飼い主から		所有者不明		合計		返還数	譲渡数	殺処分数
	成熟個体	幼齢個体	成熟個体	幼齢個体	成熟個体	幼齢個体			
香川県	43	0	893	443	936	443	1 (0)	169 (55)	1,205 (364)

樹齢1200年の巨木がそびえる神秘の小島・志々島

三豊市詫間町沖に浮かぶ小さな島、志々島。島名の由来には諸説あり、正確なところはわかりませんが、獅子の姿に似ているから、あるいは十握剣を納めた神霊島から志々島と名付けられたと伝えられています。この志々島のシンボルが樹齢約1200年という大楠。うねるような太い根がその巨体を支え、無数の枝が四方へ伸びる様は迫力満点。ひと目見れば、神秘の力を感じることも間違いなしです。志々島にはほとんど平地が無く、島全体が山のように。最高点の横尾の辻まで登ると、瀬戸内海の眺望が広がります。天気がよく、空気が澄んでいれば、瀬戸大橋の姿も見えるそうです。



せとうち島手帖より
紹介文と画像引用

志々島状況（申請時）

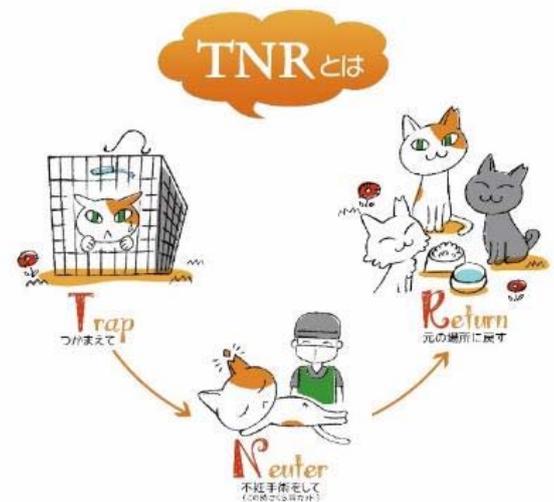
島民17名の島に、猫が80頭。

島にはたくさんの猫がいます。

これまでiターン・新規移住組を中心にエサをあげて、仲良く暮らしてきましたが、これ以上猫が増えると島の生活が破綻します。

TNRで猫が増えないようにし、どの猫にも十分な餌が与えられるようにすることで島民と猫が幸せに暮らせるようにしたいと思います。

（申請書より抜粋）



計画

猫の殺処分ゼロをめざすどうぶつ基金による無料出張手術を地元団体、島民と協働で実施します。志々島に住む猫を全頭一斉に不妊手術をして繁殖を防ぎ、糞尿や鳴き声などの問題を解決することで、島の環境を改善し、猫と人の平和な共存を目指します。



手術前日から3日間、ボランティアと志々島自治会あわせて、のべ49名体制で猫を捕獲、手術会場へ運びました。



捕獲器・ケージ使用台数

所持者	捕獲器	ケージ
どうぶつ基金	100台	0台

スケジュールと協働人数

doubutukikin

手術日

12月23日(金・祝)		12月24日(土)	
10:00	会場設営	9:00	前日手術済み猫リリース
13:30	朝礼	9:30	手術開始
14:00	手術開始	12:00	手術終了
16:00	手術終了	14:00	撤収完了・終礼
17:00	撤収完了・終礼		

協働人数

所属	12月22日(木)	12月23日(金・祝)	12月24日(土)
どうぶつ基金	スタッフ2名	スタッフ2名 獣医師5名	スタッフ2名 獣医師5名
志々島自治会	8名	8名	8名
瀬戸内さくら猫推進会	1名	1名	1名
BONにゃん	2名	10名	10名

手術数

doubutukikin

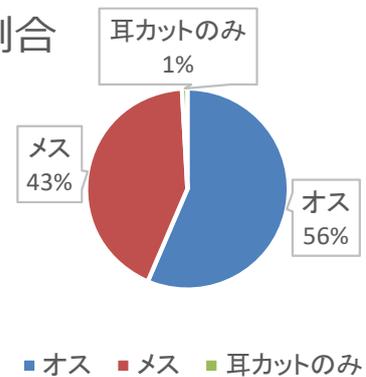
手術数

	オス	メス	耳カットのみ	計
12月23日(金・祝)	19	11	5	35
12月24日(土)	18	15	0	33
合計	37	26	5	68

処置内容

不妊去勢手術、ワクチン、ノミ・ダニ・回虫の駆除薬（レボリューション）、点眼、補液50cc

オスメス割合



獣医師

doubutukikin



- 山口獣医師（執刀医）
- 足立獣医師（執刀医）
- 高尾獣医師（ボランティア参加）
- 小松獣医師（ボランティア参加）
- 青山獣医師（ボランティア参加）

Sakura Neko
TNR

手術会場の様子

doubutukikin



●朝礼風景



●手術



●チームワークは抜群



●手術待ちの猫たち



●ボランティアのみなさんも見守ります



●まずお腹の毛を刈ります



● 真剣なまなざしに命の重さを感じます



● ケージをきれいに洗浄



● ボランティアさん、島民のみなさん



● さくらねことして駆け出します



● のんびりさくらねこたち



● 猫と島民のみなさまの幸せをいのりつつ
島を離れました

- 2016年12月20日 朝日新聞（香川地域版）



- 2016年12月24日 読売新聞（香川地域版）



- 2016年12月24日 朝日新聞（香川地域版）



- 2016年12月29日 毎日新聞



- 2016年12月27日 RNC西日本放送 news every. (18:15~)





今回は島の皆さんが主体となり、市民ボランティアと協働して地域の課題解決に取り組んだケースでした。猫を共に生きる仲間として受け入れることを決めた島の皆さんの優しさに心を打たれました。

島ねこ問題は全国で起きています。志々島の取り組みが今後のよきモデルケースとなることを願っています。

理事長 佐上邦久



公益財団法人どうぶつ基金

志々島自治会・瀬戸内さくらねこ推進会・NPO法人BONにゃん